

登録コード	HZ900200	開講年度	2026	大学院共通科目			
授業題目	知財管理特講					担当教員	松山 紀里子
英文授業名	Intellectual Property Management					副担当	
単位数	2	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	総合医理工学研究科（博士課程）学生
講義室			授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇐⇒					(授業の達成目標)	
	2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加						
	【研究科共通_2024年度以前加修対象】専門分野以外の課題を見渡し自身の研究課題の社会的意義を再認識する俯瞰力					⇐⇒	知的財産と法律等により保護される知的財産権に関する正しい知識を習得し、研究活動や社会活動における知的財産の重要性を理解し、知的財産に基づく事業化や起業につながる研究成果の的確な保護と活用を行えるようになる。また、知的財産権の侵害や係争等のトラブルを未然に回避する知識とスキルを習得する。
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加						
	【研究科共通_2025年度以降加修対象】高度専門職業人・研究者として、科学・技術を発展させるための健全な倫理観					⇐⇒	知的財産と法律等により保護される知的財産権に関する正しい知識を習得し、研究成果の社会実装や起業に向けて的確な知的財産の確保と活用を行えるようになる。また、知的財産権の侵害や係争等のトラブルを未然に回避する知識とスキルを習得する。
(2)詳細 /Detailed information	研究者や社会人として研究活動や技術開発を行ううえで、当然備えておくべき知的財産（発明・考案・デザイン・商標・著作物・新品種・営業秘密など）と法律に基づき取得できる知的財産権とその活用に関する基礎的な知識を習得する。本授業では、身近な商品やサービス、ニュースなどを事例として取り上げ、日々の生活に多くの知的財産が活用されていること、ビジネスにおいて知的財産は武器にも防具・障壁にもなり得ること、自ら起業する場合の知的財産の活用と戦略についても学ぶ。 また、工業業所有権情報・研修館(INPIT)が運営する特許情報プラットフォーム「J-PlatPat」に代表される無償開放された知的財産データベースを用いて、特定の研究領域における第三者の知的財産権や競合する企業や研究グループの動向、研究成果の実装が想定される市場を調査する方法と、調査で得られた特許情報を正しく理解し、研究活動や起業に活用できるスキルを習得する。						
(3)授業の概要 /Overview of course	この授業では、大学や企業において研究や技術開発に関わる者として知らなかったでは済まされない「知的財産」について基礎的な知識と活用法、特許情報の検索スキルを学ぶ。法律としての知的財産の知識ではなく、研究活動において創出される知的財産とその取扱いについて、具体的な製品やサービス、事件等の事例を交えながら手続や留意点などについて説明する。 本授業の講師は、特許事務所や大学の知的財産部門において20年以上の実務経験があり、現在、信州大学の知的財産室長として、信州大学において創出される知的財産の発掘・管理・活用までの実務を担当するとともに、信州大学が主幹機関を務めるJSTスタートアップエコシステム共創実務家教員が担当する。本学の研究活動から創出された知的財産権やスタートアップについても教材として用いる。						
(4)授業計画 /Course plan	(スケジュール) 全15回の授業の講義動画をアップロードする。それぞれ指定する期間内に各自受講する。 オンデマンド授業の受講方法については開講前にe-ALPS等で受講生に通知する。 ガイダンス： 第 1回 研究者がなぜ知的財産を学ぶ必要があるのか？ 第 2回 大学の研究活動から創出された知的財産・スタートアップの事例紹介ほか 知的財産の基礎知識 第 3回 特許の基礎知識① 第 4回 特許の基礎知識②、実用新案の基礎知識 第 5回 意匠の基礎知識、商標の基礎知識、 第 6回 種苗法の基礎知識、著作権の基礎知識、その他の知的財産の基礎知識 第 7回 知的財産活用の基礎知識 知的財産の応用知識 第 8回 知的財産情報の検索・解析・活用の基礎知識 第 9回 知的財産情報の検索スキル①（特許・実用新案） 第10回 知的財産情報の検索スキル②（意匠・商標） 第11回 知的財産を巡る事件の事例紹介、知財トラブルを回避するスキル スタートアップに関する知識（8/1～） 第12回 起業のための基礎知識① 起業シーズを見極める 第13回 起業のための基礎知識② ビジネスモデル、競争優位性 第14回 起業のための基礎知識③ 市場調査、資金調達、仮説検証、トラクション 第15回 スタートアップの事例、AIツール等の紹介 （課題レポート） 中期と後期の講義内容に基づいて、それぞれ課題レポートを提出する。 課題レポートの内容と様式、提出方法は、各期の講義動画等のアップロードと併せて通知する。 提出期限：レポート課題①② 8月24日(月) ㄫ切						
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	(成績の基準) (成績評価の方法) 課題レポート：100点（50点×2回） (成績の基準) 課題レポートは、教員を感心させるレベルならば45～50点。よく練られていれば38～44点。適切であれば30～37点。不十分であれば10～29点。						

(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	(最終評価) 課題レポートの合計点に基づいて評価を行う。 90点以上は「秀（授業の達成目標の水準から見て卓越している）」。80～90点は「優（授業の達成目標の水準よりかなり上にある）」。70～80点は「良（授業の達成目標の水準よりやや上にある）」。60～70点「可（授業の達成目標の水準にある）」。59点以下は「不可（授業の達成目標の水準にない）」とする。
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	(履修上の注意) ・受講に必要な通信回線とパソコン等は受講生が各自準備すること。 (事前事後学習の内容) ・講義内容の理解に役立つWebサイト、書籍、報告書、テレビ番組等を紹介するので、可能な範囲で確認・復習すること。 ・受講期間は、身近な知的財産やニュースに関心を持ち、積極的に探索・調査等を行うこと。 (テキスト・教材・参考書) ・テキストは指定しない。 ・講義資料(教材)は各期の開始時にe-ALPSにアップロードする。 ・参考書は必要に応じて授業の中で紹介する。
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	・授業の質問や知的財産に関する相談は、開講期間以外も含めて、kirico@shinshu-u.ac.jpまたはTEL: 0263-37-3529 (URA室) まで連絡ください。 ・知的財産管理技能士(1級～3級)、弁理士などの知財関連の資格取得についても相談に応じます。
(8)授業の形式 /Course format	オンデマンド